

ヘブル語講座アウカルト 「ゴエール」 「贖い主」




●「ゴエール」(贖い主)の語源は、「贖う」を意味する動詞「ガール」です。その初出箇所は創世記48章16節です。そこに、「すべてのわざわいから私を贖われた御使いが、この子どもたちを祝福してくださいませように。私の名が先祖アブラハムとイサクの名とともに、彼らのうちに受け継がれますように。また、彼らが地のただ中で豊かに増えますように。」(新改訳2017)とあります。ここでの「私」とはヤコブのことです。ここに「ガール」の基本的(預言的)な意味があります。まず、「すべてのわざわいから私を贖われた」とは「救い出す」ことを意味します。また「私の名が先祖アブラハムとイサクの名とともに、彼らのうちに受け継がれますように」とは、アブラハム、イサク、ヤコブに対して語られた神の約束が、ヤコブの子孫(イスラエルの民)に受け継がれ、地のただ中で豊かに増えるという祝福が与えられることで、この約束を保証してくださる存在

こそ「御使い」だとしています。これは預言的・奥義的ですが。創世記でしばしば登場する単数の「御使い」は、受肉前のイエシュアです。このイエシュアが「人の子」として、「贖いの代価」として自分のいのちを与えるのです(マタイ20・28、マルコ10・45)。これが「ゴエール」(贖い主)で、「救い主」と同義です(イザヤ49・26)。

●「ゴエール」はイスラエルの「夫」であり、イスラエルを「造った者」であり、「万軍の主、聖なる者、全地の神」とも呼ばれます(イザヤ54・5)。その方がイスラエルに対して「子を産まない不妊の女、喜び歌え。産みの苦しみを知らない女よ、喜び叫べ。……」(主は言われる)と言われます(同54・1)。「子を産まない不妊の女、産みの苦しみを知らない女」とは、結論から言えば、終わりの日にメシア王国に入るイスラエルの残りの者のことです。彼らは「恵みと嘆願の霊」が注がれる(ゼカリヤ12・10)ことによって、

イエシュアがメシアだと気づかされ、悔い改めるユダヤ人です。彼らが神によって立ち上がるのは、獣と呼ばれる反キリストが本性を現す未曾有の大患難の時です。彼らは神の印を押されているのが守られます。そして彼らがイエシュアの語った御国の福音を宣べ伝えることで、数えきれないほどの異邦人が救われるのです(マタイ24・14、黙示7章)。それまでずっと「子を産まない不妊の女、産みの苦しみを知らない女」であったイスラエルが、大患難という「産みの苦しみ」の中で「イスラエルの残りの者」として立ち上げられ、「子を産む」ようになり、「喜び歌え、喜び叫べ」となるのです(「子は「男の子」という集合名詞で、上記の「数えきれないほどの異邦人」を指し、教会とは異なります)。この「イスラエルの残りの者」こそ、「ゴエール」なるイエシュアによって「すべてのわざわいから私(ヤコブ)イスラエルを贖われたら、つまりイエシュアの贖いによってアブラハム、イサク、ヤコブへの約束を受け継ぐ祝福された民です。ちなみに私たち異邦人(あるいは教会)は彼らに接ぎ木される存在であり、イスラエルの「残りの者」が立ち上がることなくしては救いの保証はあり得ないのです。」(銘形秀則)

はじめに神は…

 <p>コーフは、水平線に「沈む夕日」を表した文字です。</p>	 <p>夕日は沈み、夜になりますが、朝日となってまた必ず現れます。</p>
 <p>またコーフは、去って行く人の「後ろすがた」を表しています。</p>	 <p>主イエスは弟子たちに言われました。「わたしは去って行くが、あなたがたのところに戻ってくる。」</p> <p>ヨハネ 14:28</p> <p>(作・神田満)</p>

編集後記 (史料・機関誌委員会から)

猛暑と地震と台風水害、手を変え品を変え、地域のどこかで各種の自然災害に見舞われる日本列島、このような自然環境の中でも、連盟の夏場の諸活動が粛々と行われました。

特に、連盟夏季修養会は東山荘で、子供たちのキッズ&ファミリークャンプと大人のリゾートの二刀流で、また若者達のためのCOG Park キャンプは奥多摩福音の家で、それぞれに神様のお導きとお守りの中で、霊肉共に豊かなお取り扱いを頂き、盛会であったことを、心から主に感謝します。

これから、秋の良い季節、実りの季節へ向かい、連盟諸教会の諸活動が、主なる神様の祝福のもとに豊かな実りの時となされますようにお祈りいたします。

(S・N)

発行所

宗教法人 日本神の教会連盟

東京都練馬区羽沢二丁目一九

練馬神の教会内

発行者

相原典之

編集者

沼 慎二

福岡県筑紫野市二日市北二丁目一八一六

日本神の教会連盟 二日市栄光キリスト教会

電話&FAX 〇九二(九二四)五〇九八

